



# 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月7日

上場会社名 株式会社 アドバンス・メディア  
コード番号 3773 URL <https://www.advanced-media.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営推進本部長 (氏名) 立松 克己

TEL 03-5958-1031

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,887	24.8	663	72.6	686	65.7	462	57.4
2023年3月期第2四半期	2,314	20.3	384	65.2	414	54.4	293	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 689百万円 (83.0%) 2023年3月期第2四半期 376百万円 (433.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	29.86	29.82
2023年3月期第2四半期	16.45	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,497	10,275	66.1
2023年3月期	14,828	9,707	65.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 10,240百万円 2023年3月期 9,668百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		16.00	16.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の配当予想については、現時点で未定であります。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	15.8	1,200	11.0	1,200	7.0	900	3.7	58.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	18,392,724 株	2023年3月期	18,392,724 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	2,870,533 株	2023年3月期	2,939,433 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	15,481,830 株	2023年3月期2Q	17,852,253 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社グループは、2023年3月期までをBSR展開期、2026年3月期までをBSR拡大期とし、BSR拡大期の最終年度では売上高100億円、営業利益率30%の実現を目指しております。

そのような計画のもと、当連結会計年度につきましては、BSR展開期最終年度で伸ばさせた既存のフロー&ストックビジネスを土台に、展開中のAmiボイスエンジン・プラットフォーム（ACP含む）に加え、営業業務の支援、文字起こし業務支援、DX化支援等の各種プラットフォームを市場へ導入することでBSR拡大への足掛かりを築くといった役割を果たしてまいります。

当第2四半期においては、各企業における業務効率化にともなうDX推進のニーズに対してAI音声認識AmiVoice®の各種製品が伸びました。また、BSR展開期に取り組んだストックビジネスの売上比率の向上によって増収増益し売上高、営業利益、経常利益において第2四半期過去最高を実現することができました。

売上高に関しましては、BSR1（第一の成長エンジン）において、CTI事業部、VoXT事業部、医療事業部が増収し前年同期比27.2%増、BSR2（第二の成長エンジン）においては前年同期比4.2%増となりました。その結果、当社グループ全体では、前年同期比24.8%の増収となりました。

損益に関しましては、営業利益につきまして、BSR1（第一の成長エンジン）において、CTI事業部、VoXT事業部、医療事業部が大幅に増益し前年同期比で62.9%の増益、BSR2（第二の成長エンジン）においては、ほぼ前年同期並みの赤字幅となりました。その結果、当社グループ全体では、前年同期比で72.6%の大幅な増益となりました。営業利益の増益により経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も増益いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高2,887百万円（前年同期は売上高2,314百万円）、営業利益663百万円（前年同期は営業利益384百万円）、経常利益686百万円（前年同期は経常利益414百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益462百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益293百万円）となりました。

音声事業の各分野別の状況は、以下のとおりであります。

#### BSR1の状況（連結調整前）

	売上高	（前年同期比）	営業利益	（前年同期比）
BSR1（第一の成長エンジン）	2,611百万円	27.2%増	731百万円	62.9%増

#### CTI事業部（BSR1）

大手SIerを中心とした販売パートナーと連携しコンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション「AmiVoice® Communication Suite」において、大型案件2件の導入があるなど販売が好調に推移しました。また、電話対応の自動化を手軽に実現できるボイスボット（音声認識IVR）のクラウドサービス「AmiVoice® ISR Studio」をリリースいたしました。

ストック比率：第1四半期末81.8%→当第2四半期末65.3%

ライセンス数（累計）：第1四半期末68,517→当第2四半期末70,757

#### VoXT事業部（BSR1）

AI音声認識AmiVoice®を活用した議事録作成・文字起こし支援アプリケーション/サービスの需要が増大し、ユーザー数が増加いたしました。また、AI音声認識文字起こし支援アプリケーション「AmiVoice® ScribeAssist」にMicrosoft社の「Azure OpenAI Service」を活用し自動要約を行える「AI要約（β）powered by GPT-3.5」をリリースしました。

ストック比率：第1四半期末96.0%→当第2四半期末96.5%

主力2製品のライセンス数：第1四半期末3,076→当第2四半期末3,226

#### 医療事業部（BSR1）

2024年4月から開始される「医師の働き方改革」で、医師の勤務時間の適正化に向けた取り組みが必要となっております。それにともない、病院における医師や看護師、医療従事者の業務効率化へのニーズが高まっており、主力製品であるAI音声入力ソフト「AmiVoice® Ex7」シリーズや医療向けAI音声認識ワークシェアリングサービス「AmiVoice® iNote」の販売が堅調に推移しました。

ストック比率：第1四半期末41.6%→当第2四半期末35.8%

ライセンス数（累計）：第1四半期末49,722→当第2四半期末50,851

SDX事業部（BSR1）

様々な領域特化AI音声認識エンジンを利用可能とするAPIなどを提供するボイステックプラットフォーム「AmiVoice® Cloud Platform（ACP）」の、利用企業数・利用時間数が増加しました。

また、営業ロールプレイングによる実践的なセルフトレーニングと、AIを活用した自動採点機能などにより、営業担当者のトークスキルの向上を支援するクラウド型トレーニングプラットフォーム「AmiVoice® RolePlay」をリリースいたしました。

ストック比率：第1四半期末87.9%→当第2四半期末87.4%

API及びSDKのユーザー数（累計）：第1四半期末3,091→当第2四半期末3,332

BSR2の状況（連結調整前）

	売上高 (前年同期比)	営業利益 (前年同期比)
BSR2（第二の成長エンジン）	285百万円 4.2%増	△70百万円 —

BDC本部（旧ビジネス開発センター）・海外事業部（BSR2）

BDC本部は、建設業界向け建築工程管理のプラットフォームサービス「AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム（SIP）」のユーザー数を増加させるとともに、同サービスを活用した人材サービス「AISHサービス」の利用が増加いたしました。

ライセンス数（累計）：第1四半期末46,566→当第2四半期末49,173

海外事業部は、収益改善を進めました。

連結子会社等（BSR2）

AMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）は、主要顧客に対する案件獲得を進めました。

株式会社速記センターつくばは、自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得等を進めました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は9,359百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円減少いたしました。これは主に預入期間満了により金銭の信託が200百万円、受取手形及び売掛金が122百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,138百万円となり、前連結会計年度末に比べ944百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券の取得や評価替えにより785百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は15,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ669百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ478百万円増加いたしました。これは主に売上に関する前受金が311百万円、未払金が137百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,381百万円となり、前連結会計年度末に比べ376百万円減少いたしました。これは主に長期借入金384百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は10,275百万円となり、前連結会計年度末に比べ567百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金231百万円増加、親会社株主に帰属する四半期純利益462百万円及び剰余金の配当247百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.1%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日付で公表した連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,755,655	7,888,343
受取手形及び売掛金	945,464	823,029
金銭の信託	200,000	-
電子記録債権	21,597	21,584
商品及び製品	66,250	96,428
仕掛品	6,648	10,644
原材料及び貯蔵品	50,952	43,633
未収入金	16,901	16,319
預け金	48,989	143,173
その他	522,516	316,847
貸倒引当金	△671	△667
流動資産合計	9,634,307	9,359,337
固定資産		
有形固定資産		
建物	248,597	274,158
減価償却累計額	△60,841	△70,071
建物（純額）	187,756	204,086
その他	377,515	493,778
減価償却累計額	△273,764	△288,742
減損損失累計額	△13,134	△9,742
その他（純額）	90,616	195,294
有形固定資産合計	278,372	399,380
無形固定資産		
ソフトウェア	549,512	527,383
ソフトウェア仮勘定	81,210	142,566
その他	115	115
無形固定資産合計	630,838	670,065
投資その他の資産		
投資有価証券	2,105,488	2,890,895
敷金及び保証金	205,405	226,808
長期前払費用	476,969	524,101
金銭の信託	956,950	972,350
繰延税金資産	218,953	116,870
破産更生債権等	-	21,835
その他	333,461	338,124
貸倒引当金	△12,355	△21,835
投資その他の資産合計	4,284,873	5,069,150
固定資産合計	5,194,084	6,138,596
資産合計	14,828,392	15,497,933

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	66,761	46,894
未払金	117,435	254,884
未払法人税等	217,873	266,956
前受金	1,027,918	1,339,001
1年内返済予定の長期借入金	768,480	768,480
賞与引当金	25,081	21,213
その他	139,178	143,795
流動負債合計	2,362,729	2,841,225
固定負債		
長期借入金	2,680,160	2,295,920
資産除去債務	77,710	85,480
固定負債合計	2,757,870	2,381,400
負債合計	5,120,600	5,222,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,930,315	6,930,315
資本剰余金	5,727,668	5,793,122
利益剰余金	161,689	376,667
自己株式	△2,791,137	△2,725,713
株主資本合計	10,028,536	10,374,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△364,982	△133,678
為替換算調整勘定	4,494	203
その他の包括利益累計額合計	△360,487	△133,474
新株予約権	39,743	34,390
純資産合計	9,707,792	10,275,307
負債純資産合計	14,828,392	15,497,933

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
売上高	2,314,080	2,887,248
売上原価	589,907	714,133
売上総利益	1,724,173	2,173,114
販売費及び一般管理費	1,339,801	1,509,819
営業利益	384,372	663,295
営業外収益		
受取利息	1,242	3,751
受取配当金	9,581	21,399
為替差益	14,364	10,068
投資事業組合運用益	10,307	1,299
雑収入	2,454	1,921
営業外収益合計	37,950	38,439
営業外費用		
支払利息	1,821	4,668
支払手数料	4,410	-
貸倒引当金繰入額	-	9,480
雑損失	1,626	923
営業外費用合計	7,858	15,072
経常利益	414,464	686,662
特別利益		
固定資産売却益	-	16
新株予約権戻入益	1,212	858
債務保証損失引当金戻入額	19,500	-
特別利益合計	20,712	875
特別損失		
固定資産除却損	-	291
特別損失合計	-	291
税金等調整前四半期純利益	435,176	687,245
法人税等	141,459	225,016
四半期純利益	293,717	462,229
親会社株主に帰属する四半期純利益	293,717	462,229



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	293,717	462,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	83,607	231,303
為替換算調整勘定	△650	△4,291
その他の包括利益合計	82,957	227,012
四半期包括利益	376,674	689,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,674	689,242

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	435,176	687,245
減価償却費	167,649	189,922
固定資産除却損	-	291
固定資産売却益	-	△16
支払手数料	4,410	-
新株予約権戻入益	△1,212	△858
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,459	9,477
賞与引当金の増減額（△は減少）	19,458	△3,868
債務保証損失引当金の増減額（△は減少）	△19,500	-
株式報酬費用	12,972	20,757
受取利息及び受取配当金	△10,824	△25,150
支払利息	1,821	4,668
投資事業組合運用損益（△は益）	△10,307	△1,299
為替差損益（△は益）	△14,168	△2,279
売上債権の増減額（△は増加）	177,187	122,448
棚卸資産の増減額（△は増加）	△11,012	△26,855
前払費用の増減額（△は増加）	162,491	249,862
仕入債務の増減額（△は減少）	△10,128	△19,867
未払金の増減額（△は減少）	12,373	50,271
未払費用の増減額（△は減少）	△27,515	17,918
前受金の増減額（△は減少）	164,516	311,083
その他	△12,246	△12,426
小計	1,039,683	1,571,327
利息及び配当金の受取額	10,442	25,468
利息の支払額	△1,821	△4,687
法人税等の支払額	△236,175	△185,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	812,128	1,406,605
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,300,007	△2,300,009
定期預金の払戻による収入	1,600,006	2,300,008
関係会社株式の売却による収入	14,803	-
有形固定資産の取得による支出	△4,469	△66,685
有形固定資産の売却による収入	-	16
無形固定資産の取得による支出	△166,477	△190,640
投資有価証券の取得による支出	-	△465,303
出資金の分配による収入	33,240	7,320
貸付金の回収による収入	2,200	-
敷金及び保証金の差入による支出	△330	△23,136
敷金及び保証金の回収による収入	320	530
保険積立金の積立による支出	△26,776	△26,510
保険積立金の払戻による収入	2,978	2,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△844,512	△762,118
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	4,000,000	-
長期借入金の返済による支出	△167,120	△384,240
配当金の支払額	-	△244,666
自己株式の取得による支出	△2,621,123	-
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	-	11,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,211,756	△617,122
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,227	△494
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,192,599	26,870
現金及び現金同等物の期首残高	6,690,340	5,704,637
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,882,940	5,731,507

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年6月28日開催の取締役会決議により、2023年7月21日に譲渡制限付株式報酬として自己株式60,000株を処分しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が57,627千円増加、自己株式が56,972千円減少しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が5,793,122千円、自己株式が△2,725,713千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。